

取組事例の名称	山田地区災害廃棄物破砕・選別等業務委託	
概要	対象	岩手県山田町内で発生した災害廃棄物
	種別	<input type="checkbox"/> 救援 <input type="checkbox"/> 機能回復 <input type="checkbox"/> 新・増設 <input checked="" type="checkbox"/> 復興 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	規模	①柱材・角材の処理：12,800 t ②可燃系混合物の処理：41,525 t ③不燃系混合物の処理：33,200 t
	実施会社	奥村組・日本国土開発・陸中建設・吉川建設・佐藤建業JV
	実施場所	岩手県下閉伊郡山田町
	発注者	岩手県

1. 工事等取組の目的及び概要と採用した技術名称

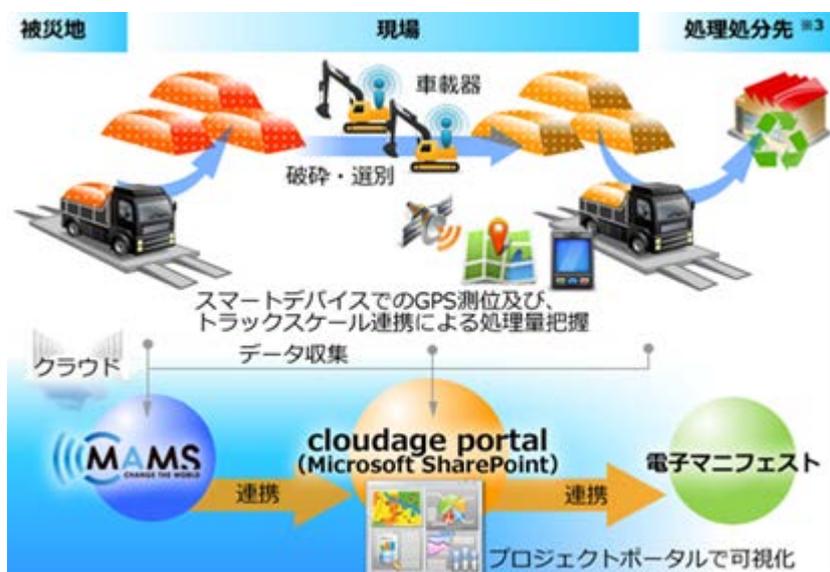
名称：廃棄物統合管理システム

東日本大震災により山田町で発生した多種多様な災害廃棄物のうち、「柱材・角材」「可燃系混合物」「不燃系混合物」を処理・処分先に応じて破砕・選別し指定された処分先に搬出する。本技術は、廃棄物を運搬するすべてのダンプトラックの運行状況・廃棄物の種類、重量等に至るまで情報を一元的に収集・管理できるシステムである。

2. 当該技術を採用した理由、当該技術に期待した成果

「柱材・角材」、「可燃系混合物」、「不燃系混合物」等に選別・破砕したうえで、指定された受け入れ先へ搬出する過程には、多くの人員と手間を要し、各処理工程や全体の進捗状況等をいかに効率的に把握し管理するののかという課題がある。その解決策としてクラウドサービスを利用し、廃棄物の運搬・処理状況の一元管理やダンプトラックの運行管理が可視化できる本システムを開発した。

(写真、イラスト)



取組事例の名称	山田地区災害廃棄物破碎・選別等業務委託
<p>3. 工事等の実施に当たっての課題や留意した事項、苦労した事柄・教訓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人力のみで管理する場合には複雑な手間と工程を要する本業務内容をいかにシステムとして組立て、クラウドサービスに適用していくかという点</li> <li>・ このシステムを利用する運転手や管理者への指導・教育の徹底</li> </ul>	
<p>4. 実施後の成果に対する発注者や地元住民等の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物の処理量や運行しているダンプトラックの現在位置等様々なデータを、リアルタイムで関係者が必要な場合にいつでも把握できるという点で発注者から評価を得ている。</li> <li>・ また、これらのデータが表やグラフ等で可視化され、わかりやすい表現となっている点も評価されている。</li> </ul>	
<p>5. 採用した技術に対する改善点、望まれる技術</p> <p>被災地では災害廃棄物処理に続いて本格的な復興事業が開始されようとしている。本システムは廃棄物だけでなく、復興事業における大量の資機材や土砂の運行管理等汎用性のあるシステムとして利用されていくことが望まれる。</p>	
<p>6. 今回の取組を通じ、将来の災害対応の為に準備すべきと感じた事項</p> <p>今回の東日本大震災のような想定できない災害に対して、ハードの設備だけでは十分に対応できないことは自明の理となっている。そのためには「逃げる」ということが重要になってくるが、今後の高齢者社会を考える場合、足腰の弱っている高齢者がいかに迅速に「逃げる」ことができるか、そのために必要な設備や知識を備えていくことが必要だと考えている。</p>	
NETIS登録	